

事務事業名		子育て世代包括支援センター設置事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	01 安心安全な暮らしを支えるまちづくり				所属課	保健福祉課	担当	保健予防担当
	施策名	02 子育て支援の充実				課長名	星 育男	担当者名	斎藤 圭子
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	母子保健法
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成30 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 子育て世代包括支援センターは、主に妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、保健師等が妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び18歳までの子どもの健康の保持及び増進に係る包括的な支援を行うことにより、地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を提供する体制を構築する。</p> <p>2 概算事業費 保健師、助産師及び子育てに精通したもの(1名賃金):1,200円×6時間×20日=144,000円×12ヶ月=1,728,000円</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	妊産婦及び18歳までの子どもとその保護者の健康の保持及び増進	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	妊産婦及び18歳までの子どもとその保護者	ア 支援件数	件
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うことで安心をして子どもを生み子育てができる	イ 18歳までの子どもの人数	人
		ア 母子手帳を発行した人数	人
		イ 18歳までの子どもの人数	人
		ア 子育ての不安感が解消された世帯の割合	%
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 件		80	95	100	110	100
	イ	実績値 件						0
対象指標	ア	目標値 人		50	55	60	70	60
	イ	実績値 人		1,490	1,470	1,465	1,470	1,465
成果指標	ア	目標値 %		75	80	85	90	85
	イ	実績値 %						0

計画		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円	576	576	576	576	576
	事業内訳	県支出金 千円	576	576	576	576	576
		地方債 千円					0
		その他 千円					0
		一般財源 千円	576	576	576	576	576
		事業費計 (A) 千円	0	1,728	1,728	1,728	1,728

実績		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					0
	事業内訳	県支出金 千円					0
		地方債 千円					0
		その他 千円					0
		一般財源 千円					0
		事業費計 (A) 千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町の全ての妊産婦及び18歳までの子どもがいる世帯を対象としている為。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	全国的に子育て世代包括支援センターの設置するように努めなければならなくなった為。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	対応する職員は、保健師1名としており、コストは最低限の人員配置としている。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	塩谷町在住の全ての妊産婦および18歳までの子どもが対象となっているために公平性は保たれていると判断できる。	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 8 月 31 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業